

秋の月間 目標300人 組織拡大特集！

コープいしかわ労組 小がかり作戦検討中！

いしかわ労組はオープンショップで、頑張って2010年度も組織拡大をおこないましたが脱退、退職が発生し現勢を減らしての大会でした。2011年度方針では分会強化とともに組織拡大を最重点に掲げました。目標も純増10%！総がかり作戦の実施も委員長自ら方針提起されました。

しかし現場では出勤時間帯もバラバラになり分会開催もままならず、労組説明会も現状では難しい状況です。そこで、「総がかり」ではなく「小がかり作戦」を検討されています。日ごろ足を運び辛い能登方面や労組への結集が弱い分会に足を運び分会開催とともに「おさそい活動」もおこなう予定です。

「明日の夜におこなうので地連からも来てください」と連絡が入ったら予定が空いている方は是非参加してください。



コープ自然派労組

9月10日(月)の定期大会以降も同労組は組織拡大に全力で取り組んでいます。リンクス茨木営業所のパート労働者5人を新たに組合に迎えいれました。

大阪府内の、とある生協から労働相談！ 退職に追い込まれるのが不安

大阪府内に所在地がある生協、仮にG生協とします。そのG生協労働者が知り合いの労組役員へ相談し、その方から地域労組を紹介され生協労連大阪府連にも連絡がありました。9月26日(月)夜に当該労働者2人と大阪府連松本書記長と地域労組役員が相談を受けました。

相談内容は、サービス残業や低賃金で働かされているなどの労働条件もありますが、彼らが一番不安に感じているのは、以前に職場運営などの問題で上司に様々な意見を言っていた労働者が配置転換され、最終的には退職に追い込まれたことです。このことが職場の仲間を不安にさせ、今回の相談となりました。

今後、労組結成か地域労組への個人加盟か不透明ですが同じ生協の労働者として最大限の支援を行っていきましょう。次回は彼らの職場の近くで会う約束をして分かれましました。

生協労連組織拡大推進委員会 9月23日開催

委員会で論議しましたが、この間組織拡大が前進し継続的に具体的な活動をされている地連や単組の話は参考になりました。一例を紹介します。

北海道地連では、時給労働者の拡大には生協労連のパートタイムハンドブックが有効だと話されていました。関西でも活用しましょう！生協労連にはまだ在庫があるはず。直ぐに注文しましょう！

関東地連では、「コツコツと継続的に取り組む単組・人を増やして確実に、毎回執行委員会で論議」を掲げています。その中でもコープネット労組が日常活動として組織拡大に取り組まれています。

一発逆転満塁ホームランではなくコツコツと。そして同地連では組織拡大計画書を各単組に提出してもらっています。その中で、今まで拡大できていなかった単組も対象者や部署、具体的な取り組みを考えれば対象者が続々と出てきた。ということです。

大学部会では、関西でも拡大行動で具体的な動きが出てきていますが、全国的にも取り組まれだしています。それを全国の大学部会で共有するために各地連の大学の情報を真壁さん(大学部会事務局長)に送ることを確認。

そこで！関西でも計画を立てて月間に臨もう！

昨日、送付した計画書を是非、記入して返送してください。フォーマットはこだわりませんので各単組の計画をお知らせ下さい。